

新渡戸稲造デザインの募金型自動販売機除幕式、挙行！



考える会
松井博和理事長

北海道大学
横田篤理事・副学長

北海道コカ・コーラボトリング（株）
佐々木 康行代表取締役社長

北海道コカ・コーラボトリング株式会社のご厚意により、売上の一部が私たち新渡戸稲造と遠友夜学校を考える会が設立を目指している新渡戸稲造記念館（仮称）への募金となる飲料自動販売機が、5月に新渡戸稲造記念公園に設置されましたが、その正式な除幕式が7月7日に挙行され、30名近くが参加しました。

北海道コカ・コーラボトリング株式会社・佐々木康行社長より、同社は国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）に力を入れており、その運動の魁であった新渡戸稲造の思想・活動に感銘して、今回の募金型自販機設置を申し出てくださったと、経緯をご紹介いただきました。

ご来賓としてご参加いただいた北海道大学・横田篤理事・副学長からは、SDGsへの取り組み2年連続日本一の大学と評価されている北海道大学でも、新渡戸記念館でSDGsに繋がる取り組みを市民と交わりながら出来ないか検討しているとのことのご発言があり、記念館への期待が膨らみました。また、横田副学長が北大で学ばれた農学部研究室の2代目教授・佐々木西二先生が、遠友夜学校の校旗や校章をデザインされたことも話され、“新渡戸・遠友夜学校・北大”の強い繋がりについても熱く言及されました。

皆さまもぜひ、新渡戸稲造記念公園に足をお運びいただき、新渡戸の活動や、かつての遠友夜学校、未来の記念館に思いを馳せ、募金型自販機を美味しくご活用ください。





除幕式における松井理事長挨拶

お忙しいところを、皆さま お集り下さり、誠に有難うございます。

この度、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、佐々木社長様はじめ、山田部長様らのご厚意を賜り、このような特別な自販機を設置頂きました。心から有難く、深く感謝申し上げます。

新渡戸稲造は、札幌農学校の2期生として、ちょうど140年前に卒業。アメリカ、ドイツ留学を経て、卒業10年で、教授として母校に戻りました。そして3年、メリー夫人と相談して、1894年に、この地で、貧しく学校に行けなかった子女に対し、夜学校を始めたのです。50年続きました。5千人以上が学んだ学校も戦時中に閉まりました。

70年後の2014年に、記念館建設を目指して「一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」が設立され、こんにちに 至っております。

募金活動のために作られた、この自動販売機のオープニングセレモニーが、昨今のコロナ禍で延び延びとなっております。本日、北大理事・副学長の横田先生のご参加を得て、このようにスタートの宣言ができますこと、関係の皆さま、ご出席の皆さまに心より感謝申し上げます。

北海道や日本、広く人類の為に役立つ人材、未来を創る人材を育てる場、地域の皆さんと交わる場を、多くの皆さんと一緒に作ることをお約束致します。

本日は誠に有難うございました。

2021年7月7日

新渡戸稲造と遠友夜学校を考える会
理事長 松井 博和



新渡戸稲造「札幌遠友夜学校」記念館 募金自動販売機とは？

この取り組みは、当社が一般社団法人「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」を支援することを目的として設置・展開する、「札幌遠友夜学校記念館募金自動販売機」の売上の一部を同会へ募金し、記念館建設費用と維持・管理費用に活用いただくものです。

第1号機となる自動販売機は「札幌遠友夜学校」が実際にあった、現在の新渡戸稲造記念公園に設置され、この自動販売機をご利用されるお客様の善意が募金となり、「札幌遠友夜学校」の志を引き継ぎ、未来へ繋げる活動に役立てられます。

(自販機イメージ)

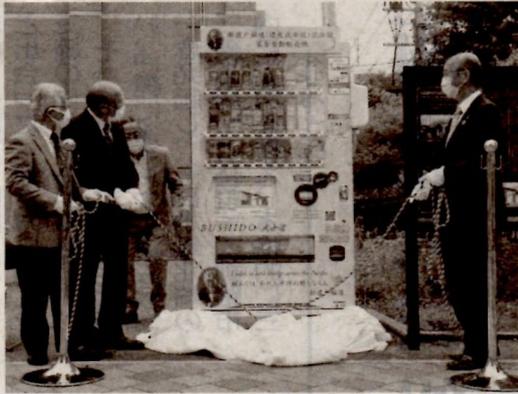


当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

新聞紙面でも紹介されました

読 覧 新 聞

佐々木社長(右)らが除幕式を行った自販機



札幌農学校(現北海道大)の教授を務めた新渡戸稲造(1862~1933年)の記念館建設を支援しようと、北海道コカ・

新渡戸記念館 建設を応援

道コカ・コーラ 札幌に募金自販機

コーラボトリング(札幌市)は、売り上げの一部を寄付する「募金自販機」を札幌市中央区の記念館建設予定地に設置した。7日、現地で行われた除幕式が、新渡戸は1894年、貧しい人々のための教育機関として、「札幌遠友夜学校」を設立。その精神を受け継ぐ一般社団法人「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」(松井博和理事長)が、2023年の完成を目指して記念館を建設する計画を進めている。

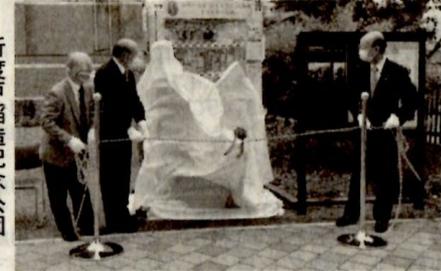
除幕式には、同社の佐々木康行社長や松井理事長ら約20人が参加。佐々木社長は「今後、道内各地に募金自販機を設置し、(考える会の活動を)応援していきたい」とあいさつした。

自販機には新渡戸の肖像写真や「BUSSHIDO 武士道」などの文字がラッピングされている。

読売新聞 2021年7月9日 朝刊

日 本 経 済 新 聞

新渡戸稲造の夜学記念館



新渡戸稲造記念公園で除幕式を開いた(7日、札幌市)

建設に向け募金型自販機

北海道コカ・コーラボトリングは新渡戸稲造が設立した「札幌遠友夜学校」の記念館を建設する計画について、手数料収入を建設費などに充てる募金型自動販売機の除幕式を札幌市内で開いた。記念館の設立には北海道大学が協力予定で、横田篤副学長が出席した。

新渡戸稲造記念公園で開いた。札幌遠友夜学校は、貧しさから教育を受けられない人

北海道コカ・北大 札幌に設置

たちのための無料の教育機関として1894年に新渡戸稲造が設立した。新渡戸の功績を将来に伝えようと「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」が記念館の設立を計画している。

北海道コカはSDGs(持続可能な開発目標)などの観点からこの計画を支援しており、自販機の契約者から得る手数料の一部を記念館設立のための費用に充てる。自販機は記念公園内と、繁華街すずきの地区近辺の二カ所に設置している。

日本経済新聞 2021年7月9日 朝刊

道民雑誌『クオリティ』 8月号(7/15 発売) でも 冒頭カラー見出しで 紹介されました

新渡戸稲造の志をつなぐ
“募金のできる自販機”が
さらに多くの方たちに認知され
温かいご支援の輪が
広がっていきそうです



『札幌遠友夜学校』の志を未来へ。
北海道コカ・コーラボトリング(本社・札幌市佐々木康行社長)と、新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会(松井博和理事長)は協働で、「札幌遠友夜学校記念館(仮称)」の設立に向けた取り組みを本格化させた。
その第1弾となったのは、「募金自動販売機」の設置。自動販売機の売り上げの一部が同会へ寄付され、記念館建設費用と維持・管理費用に活用さ

れるというものだ。
7月7日には除幕式が行われ、佐々木社長は、「新渡戸稲造先生の志は、現在取り組むSDGsの目標である「質の高い教育をみんなに」と深く通じる。1台でも多くの自動販売機を設置したい」と一層の教育支援を約束した。
全ての人に教育を、実現するためにも飲料水をお求めならぜひここで。



1号機は新渡戸稲造記念公園
北海道コカ・コーラボトリング
“募金自動販売機”

Qの写撃